

令和5年度学校運営協議会概要及び
令和4年度活動事例について

学校教育課

1. 今年度の概要について

(1) 制度の概要

- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、平成16年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正によって、平成16年9月から導入
- ・各教育委員会が教育委員会規則で定めることにより設置し、「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み
- ・平成29年には同法が改正され、学校運営協議会の設置を努力義務化
- ・学校運営への必要な支援について協議すること、複数校で一つの協議会を設置することが可能になるなど、制度面について改善
- ・国の第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日閣議決定）において、今後5年間の教育政策の目標と施策群として「全ての公立学校において学校運営協議会制度を導入することを目指す」ことが明示

(2) 本県の概要

- ・令和4年度にすべての県立学校に設置
- ・設置数 40（分校・合同設置校を含む。）
内訳 1校で単独設置している数 34
共同設置している数 6

※共同設置の状況

池田高等学校と池田高等学校辻校及び池田高等学校三好校、
徳島中央高等学校としらさぎ中学校、
川島高等学校と県立川島中学校、
富岡東高等学校と富岡東中学校、
池田支援学校と池田支援学校美馬分校、
徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校

- ・令和5年度学校運営協議会委員の任命者数 344名
（内、新規任命者数 93名）

2. 令和4年度 学校運営協議会活動状況報告書

活動事例

鳴門高等学校

学校運営協議会委員の提案により以下を実施

- ・ラグビー部員が「鳴門市第一小学校放課後ラグビー教室」において、小学生にラグビーを指導
- ・ラグビー部員が「鳴門ラグビースクール」の選手と合同練習
- ・生徒が「総合的な探究の時間」に大塚製薬工場と鳴門教育大学を見学

徳島商業高等学校

- ・オープンスクールに委員を招待し、授業参観や学校施設等の見学を実施
- ・課題研究の一つで、地域の企業の依頼を受けて、ホームページを作成する授業では、高校生の地域貢献をしている様子に高評価
- ・地域の菓子製造業と連携して開発した商品を、マツシゲートで開催した「徳商デパート」で販売した実習の様子をオンラインでつないで、委員にリモートで説明を行ったところ、授業内容の質の高さに驚き、将来徳島を元気にする高校生に期待するとの発言

阿波西高等学校

- ・委員の提案による防災訓練を実施し、生徒会役員や防災クラブ員が参加した。阿波市の指定避難所となっていることもあり、体育館開錠から避難所開設キットによる開設手順を確認する訓練を実施
- ・阿波市上池地区資源保全会の指導のもと、環境委員や教員が植栽ボランティア活動を行い、学校道路沿いの花壇にビオラを植え、地域に貢献

県立川島中学校 及び 川島高等学校

- ・中学3年生と高校4年生が、学校運営協議会で委員に「総合的な学習の時間」及び「総合的な探究の時間」の成果を発表
- ・委員からは、授業の枠を超えて活動できており、関心を持ったことを調べることや、自分の今後の生き方を考えていくことが、自らの成長やよりよい地域を作るための手立てにつながるとの講評

池田支援学校 及び 池田支援学校美馬分校

- ・授業参観に委員を招待し、コミュニケーション能力、自尊感情・自己有用感、対人相互交渉力等の向上を図るための作業学習や自立活動の時間における指導の見学を実施
- ・委員の提案により、地域の婦人会と共同で地域交流施設を活用した料理教室や、芋の苗植え・収穫、各種地域貢献活動等を実施